

第33回 安全大会を開催 ゼロ災害継続に努力 創業80周年記念祝賀会開く

古瀬組

【練古瀬組(古瀬雅章代表取締役社長・下京区船屋町252・3)は先月23日、下京区のホテルグランヴィア京都で第33回安全協議会・安全大会・総会と創業80周年記念祝賀会を開いた。多数の来賓と会員130人が参加。安全意識の高揚を図るとともに大きな節目を祝い発展を誓った。

同社は、昭和10年9月京都府相楽郡山城町(現木津川市)で創業。同50年に下京区の現在地に移転した。総合建設業として建築工事・土木工事の設計・施工で躍進し、さらに近年リノベーション事業や環境関連事業、IT事業などを手掛け、今年9月に80周年を迎えた。

安全大会で古瀬社長



古瀬社長



23日開かれた安全大会

は、まず「当社では重大災害2862日の無事故記録を続けているが、これも皆様の努力の賜物」と感謝を述べた。その上で「震災復興や東京五輪で建設業を活性化させる状況がある一方、高齢化や労働者不足が懸念され、これらが安全施工を妨げる主要因になる。今後は人材確保や技術者の育成に努めたい」と語った。

安全協議会の坂下弘親会長は「現在は総合評価方式など多様な入札方式があり、事故が発生した場合、個人や協力企業はもちろん、元請けにも多大な損失を与えることになる。今年は古瀬組様も大型物件を受注されており、特に品質・安全に対して注意してもらいたい」とした。

安全講話では、京都下労働基準監督署の大西安全衛生課長が講師を務め「京都府下における労働災害の現状と7月1日付法令改正のポイント」と題して、墜落防止措置などを解説した。安全表彰は、26年10月1日から27年9月30日までに安全協議会管轄の施工現場において無事故無災害を達成し、安全衛生活動に貢献した2つの優秀安全作業所を表彰した。



下労基の大西課長



安全協議会の坂下会長



常田専務



杉本氏



田中衆議院議員

同40年の京都支店開設など、初代古瀬真三氏(故人)と第二代古瀬昭夫氏(現会長)の苦勞や努力を振り返った上で、「守るべきものは守り、新たに発展させるべきものは発展させる。そういう思いを持って、90周年、100周年に向かって、社員共々邁進する」と決意を語った。多数出席した来賓からは、5月に開所した京都動物愛護センター(古瀬組施工)の名譽館長を務める女優の杉本彩さんと、田中ひでゆき衆議院議員が登壇し、同社のさらなる活躍に期待を寄せるとともに、祝辞を贈った。

祝賀会は、毎日新聞グループホールディングスの常田照雄専務取締役の乾杯発声で開宴し、さらなる発展を誓った。

安全大会で表彰を受けた優秀安全作業所は次の通り。
▽丹波綾部道路丹波PA調整池他改良工事
▽経年管老朽化対策(その8) 公共下水道工事(27年6月30日竣工)
〓(古瀬組) 奥田憲侍 敬称略



古瀬組の奥田氏



小川組の小川社長



古瀬組の徳富課長